

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|----------------|
| ○事業所名 | GRIPキッズ南行徳校 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 17日 | | ～ 2026年 2月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 68 | (回答者数) 24 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 17日 | | ～ 2026年 2月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 12 | (回答者数) 12 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 20日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | ・保護者様と事業所間の信頼関係 保護者の皆様 温かいお言葉をいただきありがとうございます。 今後も精進して参りますのでどうぞよろしくお願ひ申し上げます。 | ・教室内での問題やトラブルがあった際の迅速な保護者様への連絡、共有。保護者様のご意見をふまえ今後のサービス提供の改善点、引き続き継続して行うべき箇所を職員間で共有を行う。 ・普段の療育から気が付いたことの共有、ご相談 | ・保護者の方からのご意見、ご指摘をいただいたことを職員間で共有し今後の改善点、より良いサービス提供を行うために何が必要かをつねに考えていき都度職員に周知させる。教室内でのお子様の様子から些細な心情や問題点を見逃さないようにする。 |
| 2 | ・お子様が楽しく通所できる環境である | ・皆で会話ができるように、特に集団プログラム参加できるように職員での声掛けや促しをおこない、それを継続していくことで皆が楽しく会話をして遊んだりという楽しい環境を作るように心がけている。 | ・今後も楽しく安心して通所して頂ける環境作り及びお子様との会話を通じて保護者の方へとつなげていき支援の明確化や療育の見える化をすすめていく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 高学年や中学生に向けたアクティビティの考案 | ・小学生のご利用者様が多くいらっしゃることもありアクティビティ自体も中高生向けのものが少ない。 ・卒業とともに退所される方が多く、小学生低学年のメインの教室となっていることから中高生へのアクティビティが少ない | ・ご希望の方のみお呼びする。 ・ご希望の方からご要望をきき考案していく。 成長とともに今後の課題や必要な力を含めアクティビティの目的を決めていく。 |
| 2 | 利用開始から日が浅い方への具体的説明 (環境やバリアフリー化、具体的な支援内容の設定等) | ・ご利用開始からまだお時間がたっていない方はこれから利用をかさねての中でご理解して頂ける点も多く存在するが日頃からの説明や時間をとっていただき不明点への対応を行うことが必要かと思われる。 | ・定期的な面談を実施しているが、日頃の連絡帳や電話での保護者への聞き取りや、些細な事でも疑問点がないかの確認を行う。 |
| 3 | 学習提供(宿題のサポートに加え事業所で提供している学習プログラムまで行えるように支援すること。苦手分野や学習状況把握を行う。 | ・下校時間の関係で宿題のみで学習が終わってしまう点があるためその日に行う学習プログラムの範囲及び時間配分をあらかじめ決めておくこと | ・学習担当をはじめとして各児童の進捗、学習状況の把握を行う。 ・児童によって進めるペースが異なる為、優先順位を決め本日举行することを決定した上で学習プログラムの提供量を決定する。 |